



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
2019年度 第5回理事会	2019.12.6 (金) 15:00~17:00/東京:機械振興会館 5S-1
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 栄野隆 (副会長) 植田昌克、池滝重隆、菊地義典</p> <p>(理事) 辻勇、大久保利彦、田口哲也、宇根宏、高橋丈助、喜多裕、津井克巳、加納孝樹、入江政幸、中西浩</p> <p>(監事) 小松滋、矢都木力 (オブザーバー) 藤島忠康</p> <p>(来賓) 経済産業省 製造産業局産業機械課 課長補佐 安田正一様、係長 渡部圭次様</p> <p>(事務局) 本島浩美</p> <p>以上 22 名出席 (理事 16 名、監事 2 名、オブザーバー 1 名、来賓 2 名、事務局 1 名)</p>
議 事	
理事定数 21 名のところ出席理事 16 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき栄野会長、小松監事、矢都木幹事を議事録署名人に選任し、議長に栄野会長が就任の上、下記議事を進行した。	
事項・資料	議 題 / 決 定 ・ 検 討 事 項
<p>【会長挨拶】</p> <p>【来賓ご挨拶】</p> <p>【審議・承認】</p>	<p>挨拶 (栄野会長)</p> <p>年初に今年は景気に陰りがあるという挨拶をした記憶があるが、今年は実際に業界全体厳しい一年となっている。一方、歯工会の事業としては順調に進捗していて、今年度は“初”が多く、初の海外経営研修会、初のギャカレッジ全講義の東京開催、規格委員会の体制変更後、初の標準化委員会開催など。又、ギャカレッジは過熱感も感じるほど好評を得ているが、運営上の見直しについての議案を取り上げる予定で、最後まで審議ご協力のほどお願いしたい。</p> <p>ご挨拶 (経済産業省 製造産業局産業機械課 課長補佐 安田正一様)</p> <p>【資料】・令和 2 年度 地域・中小企業・小規模事業者関係の概算要求等のポイント ・(参考)補助金申請のポイント</p> <p>先ず令和 2 年度予算について、中小企業対策費として前年比増で要求している。骨子は①事業継承・再編・創業等による新陳代謝の促進、②生産性向上・デジタル化・働き方改革、③地域の稼ぐ力の強化・インバウンドの拡大、④災害からの復旧・復興、強靱化、⑤経営の下支え、事業環境の整備等である。2 月公募予定の補助金申請のポイントとして、予算編成の一般的な流れ、ものづくり中小企業製品開発等支援補助金の公募事例と申請書チェックを抜粋したものなので参考にして頂きたい。</p> <p>(1) 歯車工業会規定改定の件 【資料 No. 4】 日本歯車工業会 規定体系表 (案)</p> <p>1) JGMA ギャカレッジ企画・運営委員会規定 (案) (田中委員長)</p> <p>【資料 No. 2】 JGMA ギャカレッジ企画・運営委員会規定 (案)</p> <p>【資料 No. 6】 参考資料: JGMA ギャカレッジ受講者選抜に係わる細則 (案)</p> <p>新規に「JGMA ギャカレッジ企画・運営委員会規定」として制定し、来年度以降の受講者選抜方法についても同細則により明確にするため、JAGMA ギャカレッジ企画運営委員会での審議を経て起案され、【資料 No. 2】 は、賛成多数で承認された。</p>

尚、「JGMA ギヤカレッジ受講者選抜に係わる細則(案)」は、JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会における承認事項とし、参考資料に留めることで了解を得た。

2) 委員会規定(案) (事務局)

【資料 No. 1】委員会規定(案)

従来理事会以外で事業毎会員向けに案内を出す際、案内責任者が会長であったり、委員長であったりと統一されていなかった経緯から、この度改めて委員会規定で起案し賛成多数で承認された。

3) 会計処理規定(案) (事務局)

【資料 No. 3】会計処理規定(案)

会計処理規定、第3章第10条予算の統括に相對する、決算の統括と資料の明記がなかったため、この度、第7章第28条 決算の統括と第29条 決算書・事業報告の作成を明文化、起案し、賛成多数で承認された。

(2)新規入会の承認の件 (事務局)

【資料 No. 5】入会申込書

株式会社ソーシン(正会員)殿につき、紹介者：菊地齒車(株) 菊地社長より説明いただき、承認された。

【協議事項】

(1)2020年度年間計画の件 (事務局)

【資料 No. 7】2020年(一社)日本齒車工業会年間予定表(案)

12月6日13:00~行われた委員長会議において、10月の委員長会議、理事会の開催場所は大阪に決定。他事業は2020年予定表にもとづき実施していく。

9月の海外視察はアメリカのシカゴを予定しているが企業訪問先に関して毎年受入れ困難で苦慮している。ヨーロッパの場合は参加人数も集まるが、アメリカは参加人数に加え企業訪問先選定が課題。(植田委員長)

海外視察は工業会として継続してほしい。他工業会との協賛を検討しては如何か、中国への視察も検討等と理事数名より参考意見があったが、理事会では結論が出ず、植田委員長預りで2020年1月末までに方向性を決めることで保留とした。

【報告事項】

(1)2019年度予算中間実績報告の件 (事務局)

今年度は11月時点消化率が、収益ベースで約85%、費用ベースで40%であり、ほぼ予定通りの進捗である。収益、費用両方で今後発生分は、時期未到来の賀詞交歓会、2月実施の経営研修会、ギヤカレッジフォローアップ研修会、JGMATEプロジェクト、ギヤカレッジの実習費、事務局管理費。次回の報告は2020年4月の理事会での決算報告となる。

(2)景況報告(各社)

各社の理事から景況についてのご説明を頂いた。

	<p>1) A社： 一般的に停滞。台風によるサプライチェーン断絶影響が大きかった。中国市場減速で工作機械がかなり減産となっている。今後の回復がどうなるか。他米中関係の影響で売上が落ち込んでいる。自動車の従来製品開発も落ちた等、好材料が少なく、底に近い。</p> <p>2) B社： 測定器、今年の夏迄はそれほど悪くはなかった。ただ自動車関連で米中関係の影響が出始めた。今夏迄は順調に生産だったが、2020年度は厳しいのではという予想をしている。</p> <p>3) C社： 米中の影響で中国(工場)の売上が伸び悩んでいる。ロボット関係は影響が出遅れている。半導体が堅調だが、先行きが見えない。受注残数が気になる。</p> <p>4) D社： 工作機械は苦戦。今期末までの出荷は決まっている。各種産業向けは何処に特化しているというのは無いが減少している。上がる気配がない。</p> <p>5) E社： 短納期の受注が多く、受注は苦戦。海外から昔の修理部品を生産してくれという注文がある。図面も無く、古い部品を加工屋として製作するための技術、スキルを勉強させるということも大切と認識して、教育に力を入れている。</p> <p>6) F社： 景気動向と受注元の官・民比率は相関があり、今は民間向けが下振れ。中国向けに開発案件あり。地域ではアメリカが株高他の景況影響か、開発の引合がある。</p> <p>(3) その他</p> <p>1) ISO 国際会議（東京開催）（植田委員長） 11/15(金)～16(土)、11/18(月)～19(火)、機械振興会館にて開催。 11月15～16日にWG2(歯車精度の分科会)、18～19日にはWG4(歯車用語の分科会)が行われた。海外から委員7名出席、標準化委員会のメンバーと事務局で対応し、無事終了した。</p> <p>2) 経営研修会（菊地委員長） 11/12(火)～11/16(土)経営研修会として初めての海外視察「ベトナム人実習生・エンジニアを知るハノイ3泊5日の旅」に20名参加。日系二輪メーカー、ハノイ工科大学、技能実習研修センターの訪問、日本で働いてみたいと考えているエンジニア達との夕食会と盛り沢山であった。後日JGMANews臨時号等で報告する。</p>
	<p>【資料】 ・令和2年度 地域・中小企業・小規模事業者関係の概算要求等のポイント ・(参考)補助金申請のポイント</p> <p>【資料 No. 1】 委員会規定(案)</p> <p>【資料 No. 2】 JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会規定(案)</p> <p>【資料 No. 3】 会計処理規定(案)</p> <p>【資料 No. 4】 日本歯車工業会 規定体系表(案)</p> <p>【資料 No. 5】 入会申込書</p>

	【資料 No. 6】参考資料：JGMA ギヤカレッジ受講者選抜に係わる細則（案）	
	【資料 No. 7】2020 年度（一社）日本歯車工業会 年間予定表（案）	
次回開催日	2019 年度第 6 回理事会	2020 年 3 月 19 日（金）13：00～14：30／東京：機械振興会館

以上

2019 年 12 月 6 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 栄野 隆



監事 小松 滋



監事 矢都木 力

